

一般社団法人山口県医師会平成27年度第23回理事会

平成28年3月3日(木) 午後5時～午後7時45分

小田会長、吉本・濱本副会長、河村専務理事、弘山・萬・林・加藤・藤本・今村
常任理事、武藤・沖中・香田・中村・清水・原・船津理事、山本・武内・藤野監事

議決事項

1 山口県医師会役員等の選挙について

本会役員及び裁定委員は6月16日、日本医師会代議員及び同予備代議員は6月24日をもって任期満了になることから、選挙日程を協議し、4月号の会報において公示することを決定した。

2 第177回山口県医師会臨時代議員会について

5月19日(木)に開催、本会役員等の選挙及び議決事項1件、報告事項2件を審議することが決定した。

協議事項

1 役員補欠の選任について

武藤正彦理事より、平成28年3月31日付けで辞任届が提出された。本会定款では、理事又は監事が任期途中で退任した場合、定款第33条により速やかに補欠の選任を行うこととなっているが、28年度が役員等の改選期で、既に4月15日公示、5月19日選挙の日程となっていることから、武藤理事退任による欠員の補充選挙は行わないことが決定した。

2 平成28年度予算(案)について

前回理事会で協議後、1事業について詳細確定のため、予算案の再協議を行った。

3 平成27年度事業報告について

事業別による事業報告について協議を行った。

4 平成28年度山口県医師会表彰について

本会表彰規程により、生涯教育委員会及び警察医会において選考した被表彰者について協議を行った。

5 第99回山口県医学会総会について

平成28年度の標記総会は、下関市医師会担当で6月12日(日)に海峡メッセ下関において開催の予定であり、次の2点について要望があった。①講演料が高額で本会及び担当郡市医師会の助成金では開催費用が不足することから、製薬会社等へ協賛金の募集を行いたい。については、学会長及び担当郡市医師会長の連名での協賛

金趣意書を提出したいので賛同いただきたい。②下関市民へ広く周知することを目的に下関市の名義後援を得たいが、主催者名での名義後援申請書を提出したいので了承いただきたい。①については、本来助成金の範囲内で開催するべきものであること、収支予算書の内容が適切であるかどうか等により、次回理事会において再協議することとし、②については了承することとした。

6 「精神科救急についての意見交換会」の継続（要望）について

平成 25 年度から実施している、精神科病院と一般救急病院による標記意見交換会は、27 年度までで 8 回開催していることから、医療連携の相互理解がある程度深まったと思われるため、27 年度末をもって本事業を終了することとしたが、山口県精神科病院協会長より意見交換会継続の要望書の提出があり、症例検討等の案件により、必要に応じて開催の有無を協議することが了承された。

7 日本医師会第 6 回ワークショップ「会員の倫理・資質向上をめざして」に関するアンケート調査について

日本医師会より 28 年度開催予定の標記ワークショップのテーマ及び講師等の案について調査があったが、27 年度本会の取組みを講演していることから、特に提案しないこととした。

人事事項

1 山口労災保険診療委員会の委員について

山口労働局長より、任期満了にともなう標記委員の推薦依頼があり、6 名（留任 3 名、新任 3 名）を推薦することが決定した。

報告事項

1 第 2 回山口県障害者施策推進協議会（2 月 18 日）

「やまぐち障害者いきいきプラン」に掲げる重点プロジェクト関連の取組状況、相談支援体制の整備、生活支援の充実等、諸施策関連について審議を行った。

（今村）

2 第 2 回山口県医療対策協議会（2 月 18 日）

山口県第 11 次へき地保健医療計画の見直しについて協議、医師修学資金貸与者の勤務先及び平成 28 年度医師確保対策について報告が行われた。（今村）

3 個別指導「山口市」（2 月 18 日）

診療所 1 機関について実施され、立ち会った。（清水）

4 日医医療政策シンポジウム（2 月 19 日）

「社会保障と市場の原理」をテーマとして、「社会保障に関する市場と政府の役割分担」「公益資本主義と医学の使命」「社会保障の財政学からのアプローチ」の講

演 3 題が行われ、その後パネルディスカッションが行われた。(吉本)

5 緑の募金運営協議会 (2月19日)

平成 27 年度緑の募金事業決算見込み、平成 28 年度緑の募金推進方法 (案) 及び事業計画 (案) について協議し、承認された。(事務局長)

6 全国高等学校総合体育大会山口県実行委員会第 3 回実行委員会総会

(2月19日)

平成 27 年度補正予算 (案)、競技種目別大会収支予算 (案)、環境・食品衛生対策要領 (案) 等の審議が行われた。(事務局次長)

7 第 4 回生涯教育委員会 (2月20日)

医学功労賞の選考、第 100 回山口県医学会総会の企画、平成 28 年度生涯研修セミナーの企画等について協議を行った。(吉本)

8 第 2 回母体保護法指定医師研修会 (2月21日)

「母体保護法指定医師の指定基準」に則ったカリキュラムにおいて、27 年度 2 回目の研修会を開催した。受講者 12 名。(藤野)

9 福岡県医師会との懇談会 (2月21日)

医療事故調査制度における両県の取組み等について意見交換を行った。(河村)

10 日医学校保健講習会 (2月21日)

午前中は、「最近の学校健康教育行政の課題について」(文部科学省初等中等教育局健康教育・食育課学校保健対策専門官 松永夏来)、「学校検診での運動器(四肢)の健診の進め方(簡便法)」(日本臨床整形外科学会副理事長 新井貞男)、「IT 機器(パソコン、スマホ、携帯等)の使用による弊害とその対応」(国立病院機構九州医療センター小児科医長・周産期センター長 佐藤和夫)の講演 3 題が行われた。午後は、シンポジウム「小児肥満・やせ・女性の健康と学校医の関わり」として、講演 5 題と総合討論が行われた。(沖中)

11 山口県ジェネリック医薬品安心使用促進セミナー (2月21日)

基調講演「知っておくと、きっと役に立つ 薬の知識 2016」(山口大学大学院医学系研究科教授 古川裕之)、特別講演「ジェネリック医薬品の基礎知識」(日本ジェネリック医薬品学会理事 緒方宏泰)及びパネルディスカッションが行われた。
(清水)

12 山口県医療審議会 (2月24日)

地域医療構想(素案)及び地域医療支援病院の名称使用の承認について、審議が行われた。(小田)

13 山口県訪問看護推進協議会（2月24日）

平成27年度事業報告後、「在宅医療の現状～医療の現場、医師の立場から～」（山口県病院協会理事/玉木病院院長 玉木英樹）、「訪問看護の現状と問題点～訪問看護の現場から～」（山口県訪問看護推進協議会長 柴崎恵子）の講演2題及び意見交換が行われた。（加藤）

14 山口県がん対策協議会（2月24日）

第2期山口県がん対策推進計画の進捗状況、がん対策加速化プランを踏まえた平成28年度の取組（案）について協議を行った。（藤本）

15 中国地方社会保険医療協議会山口部会（2月24日）

医科では、新規1件が承認された。（小田）

16 第2回自賠責医療委員会・第82回山口県自動車保険医療連絡協議会

（2月25日）

交通事故医療における診断書の交付、画像診断の回数等の問題について、損保9社及び料率算出機構と協議を行った。（萬）

17 精神科救急についての意見交換会第8回会議（2月25日）

山口県精神科病院協会が行った「自殺企図者の実態調査」の調査結果について、報告が行われた。また、平成25年度から開催している意見交換会については、ある程度医療連携について相互理解が深まっていると思われることから、27年度末をもって終了することを報告した。なお、山口県精神科病院協会より意見交換会の継続の要望があることから、症例等、検討する内容が発生すれば必要に応じて協議することとしている。（弘山）

18 医事案件調査専門委員会（2月25日）

病院1件、診療所2件の事案について審議を行った。（林）

19 個別指導「山陽小野田市、下関市」（2月25日）

病院2機関について実施され、立ち会った。（萬、清水）

20 女性医師支援事業連絡協議会（2月26日）

6ブロック（北海道・東北、関東甲信越・東京、中部、近畿、中国四国、九州）の6県医師会（宮城、栃木、三重、兵庫、岡山、宮崎）から、「女性医師支援センター事業ブロック別会議開催報告」として、各ブロック会議で報告された特徴的、先進的な取組みの紹介及び質疑応答と総合討論が行われた。（今村）

21 都道府県医師会事務局長連絡会（2月26日）

平成27年度に退職又は退職予定の千葉、兵庫、岡山、大分、宮崎各県医師会事

務局長に感謝状と記念品が贈呈され、その後、水町雅子 弁護士による講演「マイナンバー制度への実務対応について」が行われた。(事務局長)

22 新しい学校検診（特に四肢の状態）に関する研修会（2月27日）

学校医、郡市医師会担当理事を対象に、新たな学校健康診断についての理解を深めてもらうため、(医)社団田町診療所の篠田陽健 院長による講演「四肢（運動器）の状態の検査のすすめ方」を行った。出席者74名。(藤本)

23 勤務医部会市民公開講座「長門市医師会」（2月27日）

「ながとの地域医療を考える～自分自身が『からだの責任者』～」をテーマに開催され、長門市消防本部の廣田雅文救急救命士隊長による「長門市の救急医療の実態について」、山口県立大学の内田耕一 教授による「ちょっと気になる肥満、脂肪肝～負けないコツを伝授します～」の講演が行われた。(加藤)

24 日医母子保健講習会（2月27日）

「子ども支援日本医師会宣言の実現を目指して-10」をメインテーマに開催された。塩崎厚生労働大臣の講演に続いて、「少子化対策に関する産婦人科と小児科からの提言」をテーマにシンポジウムが行われた。4人のシンポジストによる「小児科医から見た少子化対策」「産科医療提供体制の現状と課題」「日本版ネウボラについて」「日本医師会少子化対策に関する政策提言書」の講演があり、その後討議が行われた。(今村)

25 第9回 IPPNW 北アジア地域会議（2月27日）

フレッド・メトラー（ニューメキシコ大学医学部放射線学科名誉教授、医学部臨床教授）による基調講演「70年：Sadakoに学ぶ」、国際シンポジウム「原爆被爆医療体験の継承と国際貢献」が行われた。(小田)

26 第139回生涯研修セミナー（2月28日）

山口大学大学院理工学研究科機械システム制御工学の藤井文武 准教授による「ロボット技術の医療・介護・福祉分野での応用～近年の展開と課題」、(公財)結核予防会複十字病院の倉島篤行 臨床研究アドバイザーによる「肺非結核性抗酸菌症最新の動向と診断治療の実際」の特別講演2題が行われた。医師、医学生等94名出席。(吉本、今村、中村)

27 勤務医部会総会（2月28日）

平成27年度事業報告及び平成28年度事業に対する要望について審議した。

(中村)

28 勤務医部会シンポジウム（2月28日）

「これで分かる新専門医制度～山口県でとれる専門医」をテーマに開催した。山

口大学医学部附属病院医療人育成センターの黒川典枝 特命教授による基調講演「山口県で専門医を育てよう！」の後、4人のシンポジストにより、泌尿器科、小児科（小児・新生児領域）、外科、病院としてのそれぞれの取組みが発表された。
(武藤、中村)

29 医療事故調査制度に関する医療機関向け研修会（2月29日）

「医療事故調査制度の概略」（厚生労働省医政局総務課医療安全推進室 平子哲夫 室長）、「医療事故調査制度の理念と医療事故調査・支援センターの役割」（日本医療安全調査機構 木村壮介 常務理事）、「院内医療事故調査の具体的方法」（日医医療安全対策委員会 上野道雄 副委員長）等の講演及び質疑応答が行われた。（林）

30 広報委員会（3月3日）

会報主要記事掲載予定（4・5月号）、新コーナーの企画、県民公開講座及びフォトコンテスト等について協議を行った。（今村）

31 会員の入退会異動

入会4件、退会13件、異動7件。（3月1日現在会員数：1号1,300名、2号882名、3号409名、合計2,591名）

医師国保理事会 一第19回一

1 「交通事故に係る第三者行為による傷病届等の提出に係る覚書」の締結について

山口県国保連合会が国保保険者等の委任を受けて契約代表者となり、交通事故に係る第三者行為による傷病届等の提出に関して、損害保険関係団体と覚書を締結することについて協議し、同意することを決定した。

2 傷病手当金支給申請について

1件について協議、承認。